

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成26年10月6日（月）午後7時30分～8時55分
会場	清助新田集落センター
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）	
<p>① 民間の宅地造成（3軒）分譲で家を建てた。分譲地に入る道路が私道になっている。除雪申請は、その都度、毎回必要とことから断念した。1度の申請で除雪して頂けるようにしていただきたい。今も同じ考え方なのでしょうか。</p> <p>→ 除雪を希望するには1回は、申請をしていただきたい。1回申請すれば毎回申請する必要がないよう雪が降るまで検討したい。建設管理課で検討させていただく。申請手続きは簡素化なるように検討していきたい。</p>	
<p>② 武田氏宅、私道部分の水路について、水路が壊れ高松堰へ浸透している、何とかならないだろうか。</p> <p>→ 当該箇所は私道となっております。 私道に付随する側溝の改修については、私道整備補助金がありますので、建設管理課にご相談ください。</p>	
<p>③ 高松学童保育、平成25年より開設。ありがとうございました。 開設当初は10名、現在26名、平成27年には、10数名増加予定になっており、段々多くなってきている。あそこの場所では、30数名でも、厳しい状況である。将来的には新たな場所・建物をよろしく願いたい。</p> <p>→ 学童の設置には、時間がかかりました。人数が多くなれば手狭になっていく。高松小学校にスペースを増やすことは出来ない現状がある。今後、ますます人数が増えて行けば、施設を確保する必要も出てくる。いい場所があれば教えてほしい。中部小学区も再編整備している。市に土地を寄付してくれた人がおり、わんぱく1・2・3移転になる予定です。ご心配いただきありがとうございます。新しい所もあれば、物色してしてほしい。</p>	
<p>④ 区から市へ要請要望しているが、伊藤宅裏小路両脇の用水が用水路の機能がなく雑排水が流れ、乾季に水が停滞し、異臭・ぼうふら等で蚊の発生源になっている。 Deng熱等厄介な病気等も起きているので市道を横断して水が流れるようにしてほしい。土地改良区には了解をいただいている。市の方での対応よろしくお</p>	

願いたい。

→ 町会長を通じ要望書の提出をお願いいたします。
市公共事業整備優先基準に諮り、整備の優先順位を決定してまいります。

⑤ 寒河江市全体の町づくりの予算概要について一覧にいただき、市長出席の座談会、初めて出席したが意義ある企画と思います。

子どもを多く生んでいただく事が人口問題に対応する最大の課題と思います。

資料の中、いきいきと健やかに暮らせる地域社会の創造、1番の子育て支援医療給付事業の予算が多いが具体的内容を説明してほしい。

→ 座談会は選挙公約として実施しており、各地区公民館を回り地区の課題・市民の声を市政に反映しているために続けております。

子育て支援医療給付事業は子どもの医療費は市長就任時3歳までの無料化から就学前・小学3年生まで無料化をし、今年10月からは中学3年生まで通院・入院まで医療費すべて無料化にしました。高校まで伸ばすかは、中学生までと考えております。子育て支援が終了した訳でなく、今後、充実していくのは、子どもを多くもっている家庭に対し、保育料を今、保育園に2人入園の場合無料になっている。3人一緒に保育園入所は多くないが現在、保育料が一番上が小学3年生で入園中の第3子が無料になっているが第1子が中学生等でも、親御さんを支援していくことも充実していく必要と感じている。

子どもを多く育てている人への財政支援をしてもいいのではないかの声もあり、全国的にも多子世帯への支援もある、この辺も経済的支援・保育の支援を充実していく必要があると思います。

⑥ 消防団へ新たに兩具の整備がされ活動にありがとうございます。

少子高齢化に伴い消防団への若者の入団少なくなってきました。これが続けば将来、困ったことになる。消防団は欠かせない団体であることから消防団の将来の計画、充実も考えなければならないと思います。

→ 全国的に比べ定数に対する人員の確保は充実している団のひとつではある。分団により、人員確保に苦勞されている。昔は農業に従事する人が多く地元で仕事をしていたが多かったがサラリーマンが増える中、火災時に現場に人が集まらない状況もある。全国的に課題になっている。他市においては、OB団に支援してもらっている団もある。体制を支援するOB団の活用を検討していく。広域的に分団の再編の検討、微々たるものであるが退職手当等の支援の充実も図っていく必要がある。団員の確保に努めた長年の努力が消防団を支えている。我々も期待に応えていきたい。

⑦ さくらんぼの時期は、県内各地で雇用の確保が問題となっている。さくらんぼの町を謳うに雇用は欠かせない問題であるので市でも考えてほしい。

二つ目は、ある一定の時期になると、収穫すると採算が合わずもぎ取り等をしていない人も増えている。理由は市場内外流通の問題、今後は富裕層関係のこだわり差別化商品として考えておられると思いますが差別化商品として商談会等を実施していかないと採算割れになり、もうからなくなる。農家・行政みんなで考えていかなければならない時期にきている。大きな目標がないと紅秀峰の増植もされなと思う。考えをお聞きしたい。

→ 労働力の問題は、今後ますます厳しくなると思う。労働者も高齢化し作業が大変になってきている。労力を軽減する方法、高所作業車の支援・Y字栽培等を勧めているが普及につなげていない。最盛期に労働力が足りない所は、農協アグリパートナー、市でも募集しているが・さらに充実していくことが必要と考えている。寒河江市だけでなく県等と組織化が必要なのでないか。労力と同時にさくらんぼの販路の拡大が大事になる。トップセールスは農協と一緒にやっている。優良なさくらんぼは、農協を通して行っている訳でない。贈答用は直接行っている。新しい販路の拡大は別な販路を農協は農協、寒河江市は寒河江のブランドを市と農家のみなさんとやっていく。農協のさくらんぼ部会でなく、寒河江市と特農家の人と販路を拡大していくセールスをしていくことも必要だ。

寒河江のさくらんぼとして若手のグループ等から呼びかけていただき知恵を農林課に届けてほしい。販路拡大が出来る可能性がある。

⑧ 市長が農協と一緒に宣伝に行っているのは理解している。

市長が東京等のテレビに出演し山形のさくらんぼの中心は寒河江と PR、宣伝効果もあるのでないか？市長の宣伝方法を考えてもいいのでないか。

→ 東京あたりで寒河江のさくらんぼの出演依頼も、たまにある。

宣伝効果は大きい。TV コマーシャルは経費がかかる。「種飛ばし」等で行って、食べてもらうのが一番である。今後も宣伝は必要である。今後も頑張りたい。